

軍政部要員留任等

要員留任

二

次長同文

陸軍省
17.1.2
午前

檢閱者
陸

陸軍省
17.1.3
2
陸軍省
17.1.2

秘電報譯

一月三日 午前午後一時四十分發

次官宛 發信者 富集團參謀長

富集電 第二五號

軍政部長ヨリ

現地實情左記ノ通ニシテ地方行政院ノ復活ハ極メテ重

要且急ヲ要スルモノアルヲ以テ軍政部支部(特務機關)

當地ニ於テ適任ナル大佐中佐又高等文官二十五(内

警務關係要員十五)ヲ至急轉出セラシ度尚本格

的軍政ヲ實施ノ爲軍政部全般ニ互リ編成組織ニ関シテハ

0235

月 領

第 五 號

真田

0530

取番
扱號

13

目下研究中ニ付追テ意見ヲ具申ス左記既占領地
 ノ實情ヲ見ルニ非聯邦州ハ「サルタン」ヲ中心トスル政
 治力ニ若干ノ補強ヲ加ヘ藉スニ時日ヲ以テセバ卒ウシテ
 行政ノ衝ニ當リ得聯邦州ニ於テハ王ハ唯名ノミニシテ
 政治ノ實權行政ノ要部悉ク英人ノ支配スル所ナリシ
 ヲ以テ彼等ノ遁走後ハ全然統制力ヲ失ヒ此ノ間原住
 民族タル馬來人經濟的實權ヲ有スル華僑狡猾
 抜目ナキ印度人間ニ對シテ見秩序ノ混亂ト共ニ民
 族的社會情勢ニ變化ヲ來シ將來ノ統治ニ不利ヲ

及ホスノ憂アリ直轄領ニ於テハ更ニ其ノ傾向ニ向ヒ地方行政
 組織ノ確立コソ刻下ノ急務ニシテ其ノ中樞ハ軍政部支部（
 特務機關）ヲラザルヲ得ザル實情ニアリ然ルニ編成要領ニ
 不ス地方行政指導要員ハ佐官五、尉官五、文官二十五ニ
 シテ武官ノ素質ハ御存知ノ如ク文官ハ未ダ一名モ揃ヒ
 アラサル狀況ナリ特務機關ノ數ハ「マレー」半島ノミニテ最
 小限一〇ヲ要スベク目下軍政部本部要員ヲ臨時充當
 シ主計ヲモ利用シテ特務機關長ヲラシメ悉ク凌ギアル
 景況ニシテ斯クテハ本格的軍政實施ニモ支障ヲ來スニ到
 ルベシ以上狀況御諒察ノ上本件至急實現切望ス特ニ

通報先

陸

軍

通報先

第

號其

編譯者

日午前

時

分著

御配慮アリ度

但萬止ムヲ得ザル場合ニ機關長候補^ヲヨリ^{ホウ}逐次文官ニテ補ヒ

之ヲ推進スルコトヲモ考慮シアリ(十五時)

本署、具陳の事項に關シテ、此ノ上ニ考ヘル
商賣団等、此等ノ行合、自スルニ定

終

陸軍